

1. 科目名 (単位数)	企業統治論 (非営利企業を含む) (2 単位)		3. 科目番号	SBMP3116
2. 授業担当教員	杉山 章			
4. 授業形態	講義を主にしながら質問、報告、討論の時間をつくり進める。	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	「経営学入門」「経営学 (非営利企業の経営含む)」「経営管理論」なども履修することが望ましい。			
7. 講義概要	<p>1) 企業の健全な経営のため最も重要な機能は企業統治だといわれている。まず企業統治 (コーポレート・ガバナンス) とは何かについて理解を深める。</p> <p>2) 企業という場合、株式会社などの営利企業のほかに非営利企業 (NPO 法人など)、最近では社会的企業と表現される企業があるが、株式会社を中心としつつ、各種の企業経営に共通の機能として企業統治機能の内容を解明する。</p> <p>3) 企業活動のグローバル化にともない、日本をはじめアメリカ、中国、韓国、ドイツなどの企業統治の特徴を具体的にとりあげ、国際化への知的対応を準備する。</p>			
8. 学習目標	<p>将来、企業 (営利企業、非営利企業) へ就職したり、企業を設立、運営したり、企業と関係することが多いと思われ、そのような意味から学習の目標としては、1) 企業の立場から企業統治を考えるとともに、2) 企業の利害関係者 (ステイクホルダー) の立場から、株主、従業員、顧客、地域社会などの視点から考え、3) 数多くの具体的な事例をとりあげ、問題への認識を深めることを目標とする。</p>			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	講義で取り上げた学習内容や関連するテーマについて課題を示し検討する。			
10. 教科書・参考書・教材	<p>教材・資料を配布するが、以下を基本的な参考書として授業で使用するので各自準備すること。</p> <p>【参考書】風間信隆 (編著) 『よくわかるコーポレート・ガバナンス』ミネルヴァ書房 2019 年</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 企業統治に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</p> <p>2. 経営学的な思考が身についたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。]</p> <p>1 授業への積極的参加 総合点の 30%</p> <p>2 期末試験 総合点の 40%</p> <p>3 課題レポート 総合点の 30%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>グローバル経済の発達と社会環境の変化に伴い、人々や企業は様々な適応を続けています。私たちの暮らしもまた時代と共にさまざまな変化を続けてゆくことでしょう。複雑に見える社会の動きをシンプルに理解し、さらに、何がどうなれば良いのか、を考える力は問題解決力として、就職活動だけでなく、将来の社会人 (ビジネスパーソン) として社会を担ってゆく時に役立つ資質の 1 つです。Video 教材も取り入れたアクティブな授業を展開します。皆さんの積極的な参加を期待しています。共に楽しく学んで行きましょう。</p> <p><教員メールアドレス> aksugiya@ed.tokyo-fukushi.ac.jp</p>			
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	授業ガイダンス : 企業統治とは何か?	事前学習	本授業専用のノートを準備すること。	
		事後学習	参考書、はじめに ~ p1~5 を読み返し整理しておくこと。	
第 2 回	株式会社とは何か	事前学習	参考書 p7~15、28~35 を読んでおくこと。	
		事後学習	株式会社と経営者支配について課題を整理し、まとめておくこと。	
第 3 回	ステークホルダーとは何か	事前学習	参考書 p44~51 を読んでおくこと。	
		事後学習	マルチステークホルダー・アプローチについて課題を整理し、まとめておくこと。	
第 4 回	企業の不祥事とコーポレート・ガバナンス	事前学習	参考書 p55~79 を読んでおくこと。	
		事後学習	外部監視、内部統制について課題を整理し、まとめておくこと。	
第 5 回	経営者報酬、同族企業とコーポレート・ガバナンス および前半課題レポートの事前説明	事前学習	参考書 p80~95 を読んでおくこと。	
		事後学習	経営者報酬、同族企業について課題を整理し、まとめておくこと。 前半課題レポートの準備を始めること。	
第 6 回	【国際比較】 アメリカ、ドイツのコーポレート・ガバナンス	事前学習	参考書 p100~115 を読んでおくこと。	
		事後学習	アメリカ、ドイツの特徴について課題を整理し、まとめておくこと。	
第 7 回	【国際比較】 韓国、中国のコーポレート・ガバナンス	事前学習	参考書 p132~147 を読んでおくこと。	
		事後学習	韓国、中国の特徴について課題を整理し、まとめておくこと。	

第 8 回	【国際比較】 英国、北欧のコーポレート・ガバナンス および前半課題レポートの振り返り	事前学習	参考書 p116～131 を読んでおくこと。
		事後学習	英国、北欧の特徴について課題を整理し、まとめておくこと。
第 9 回	資本市場とコーポレート・ガバナンス	事前学習	参考書 p152～189 を読んでおくこと。
		事後学習	資本市場に関連した用語や内容について整理し、まとめておくこと。
第 10 回	コーポレート・ガバナンスと社会的企業 I ：NPO 法人、財団、社団法人のケース	事前学習	参考書 p212～215 を読んでおくこと。
		事後学習	NPO 法人、財団、社団法人の特徴について課題を整理し、まとめておくこと。
第 11 回	コーポレート・ガバナンスと社会的企業 II ：社会福祉法人、医療法人のケース	事前学習	参考書 p216～219 を読んでおくこと。
		事後学習	社会福祉法人、医療法人の特徴について課題を整理し、まとめておくこと。
第 12 回	コーポレート・ガバナンスと企業倫理	事前学習	参考書 p220～227 を読んでおくこと
		事後学習	企業倫理について課題を整理し、まとめておくこと。
第 13 回	コーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任：CSR	事前学習	参考書 p196～203 を読んでおくこと
		事後学習	CSR について課題を整理し、まとめておくこと。
第 14 回	コーポレート・ガバナンスと ESG 投資/SDGs	事前学習	参考書 p204～211 を読んでおくこと
		事後学習	ESG 投資/SDGs について課題を整理し、まとめておくこと。
第 15 回	講義全体のまとめ、期末試験の事前説明	事前学習	講義全体の要点を自分なりに整理すること。
		事後学習	期末試験の準備を進めること。
期末試験			